

お客様各位

日興アセットマネジメント株式会社

**「日興高金利通貨ファンド(毎月分配型)／(資産成長型)」
基準価額の推移と今後の運用方針について**

世界的に景気後退懸念が強まる中、先週はデフレ観測や米国の大手企業の経営不安を受けて、米国株が急落し、世界の株式市場も大幅に下落しました。このため、リスク資産回避傾向がさらに強まり、為替市場では円が買われる動きが活発化しました。

このような中、特にアジア経済の減速が懸念され新興国通貨が売られた影響により、当ファンドの基準価額は、値下がりました。「日興高金利通貨ファンド(毎月分配型)」の基準価額は2008年11月25日現在、6,698円となり、11月18日の基準価額と比較して、約3.1%の値下がりとなりました。(この値下がりには11月20日にお支払いした税引前分配金80円(1万口当たり)を含んでいます。)また、同資産成長型の基準価額は11月25日現在、7,069円となり、11月18日の基準価額と比較して、約1.9%の値下がりとなりました。

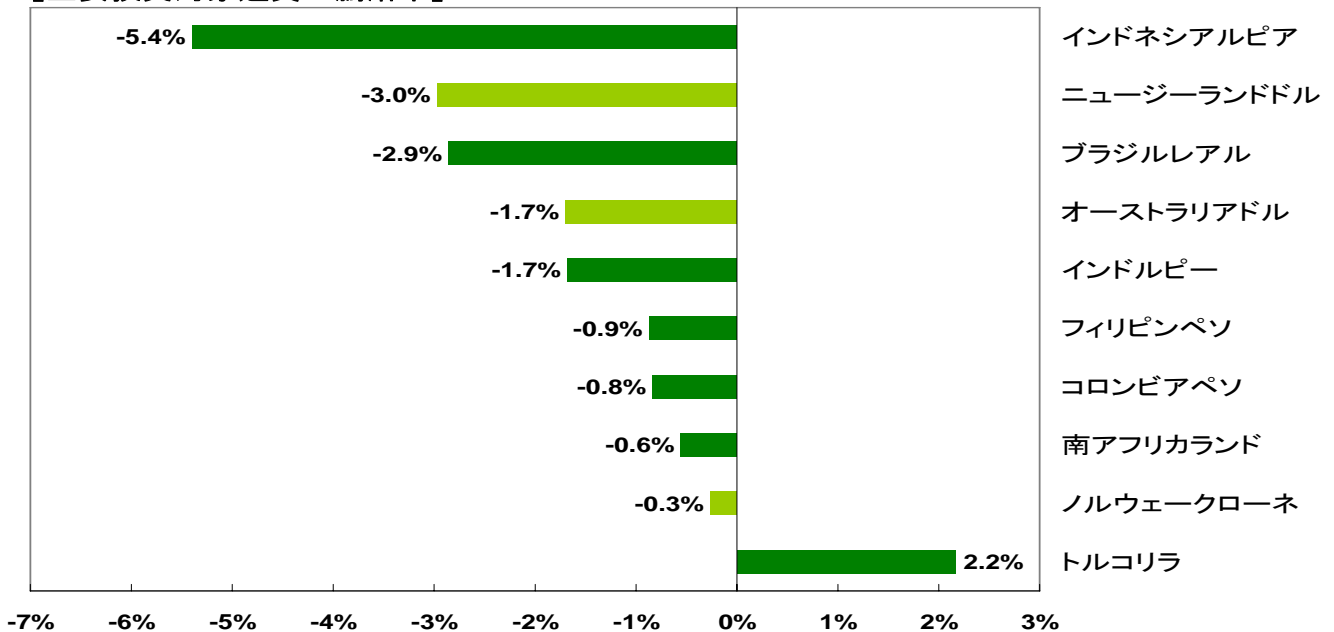
【当ファンドの基準価額と為替の騰落率】

基準価額 <11月18日と11月25日の比較>	2008/11/25 基準価額	11月18日から の騰落率
日興高金利通貨ファンド(毎月分配型)	6,698円	-3.1%
日興高金利通貨ファンド(資産成長型)	7,069円	-1.9%

※基準価額は信託報酬(年率1.1325%(税抜1.09%)程度)控除後の1万口当たりの値です。

【主要投資対象通貨の騰落率】

(2008年11月17日～2008年11月24日)

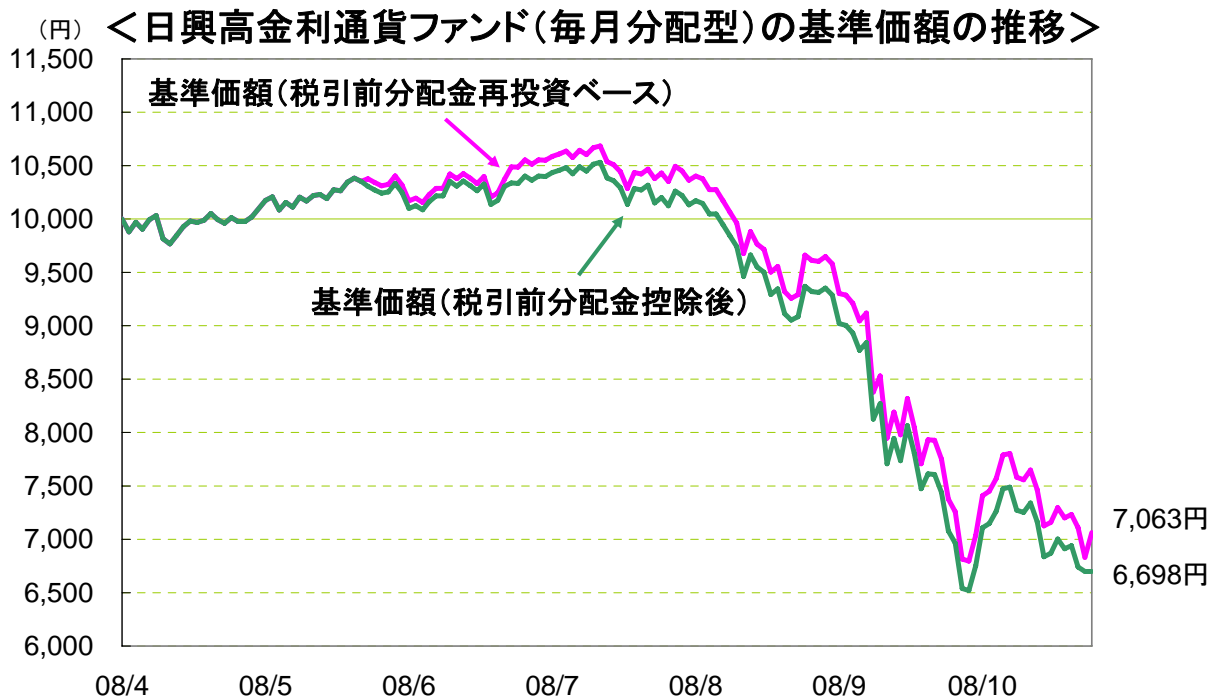


※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

※信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。

※上記は10月末現在、組入れ上位10通貨の騰落率を示したものです。

●設定来の基準価額の推移(2008年4月28日(設定日)~2008年11月25日)



※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※基準価額は信託報酬(年率1.1325%(税抜1.09%)程度)控除後の1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

以下にて、現在の状況と今後の見通しについてご説明申し上げます。

【現在の状況】

先週は、14・15日の金融サミットで世界的な金融危機に対する具体案が示されなかったこと、加えて、米国において厳しい内容の経済統計の発表が相次いだことのほか、FRB(連邦準備制度理事会)が米国経済見通しを引き下げたこと、さらに、大手企業の経営不安が取り沙汰されたこともあり、米国株式市場が大きく下落し、世界的にも株価が軟調となりました。こうした中、投資家のリスク資産回避傾向が一段と強まったことなどを反映し、為替市場は、株式市場に大きく影響を受ける展開となりました。先週は金以外の商品市場が軒並み下落し、世界経済悪化の影響により、資源需要が大きく減少するのではという不安感などから資源国通貨の下落が進みました。その一方で、円が買われる動きが活発化する展開となりました。

しかし、先週末から今週初にかけては、米国で追加の金融安定化策が発表されたことなどを受け、世界の株式市場が今週に入って反発したことなどにより、為替市場にも落ち着きが見られています。

【今後の見通し】

金融市場の混乱収束に時間を要している中、市場の関心が金融安定化対策から景気対策に移っているため、景気後退懸念が強まる先進国通貨に対しては、厳しい環境が続くものと思われます。しかしながら、主要各国中央銀行により、追加の金融緩和などが検討されていることから、リスク回避傾向は徐々に弱まるものと考えられます。

今後はマーケットが安定した方向に向かうと共に、売られていた先進国通貨に投資資金が戻り、円に対して上昇に転じるものと考えられます。

先進国の景気後退の影響を強く受けやすい新興国通貨は、今後も短期的には変動率の高い展開が続くと思われますが、一部の新興国の成長が減速する懸念もある一方で、新興国の経済は、内需が堅調であることなどの理由から、その成長力は相対的に高いと考えられます。今後も世界経済のけん引役となっていくことにより、新興国の経済は中長期的に底堅い推移をしていくと考えられます。また、新興国の利回りは、相対的には魅力的な水準であると考えられます。

当面予想される市場の振れには注意が必要ですが、今後も運用方針に則り信託財産の成長をめざして運用を続けてまいります。引き続き「日興高金利通貨ファンド(毎月分配型)／(資産成長型)」をご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

※上記コメントは2008年11月25日時点のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型証券投資信託／ファンド・オブ・ファンズ／自動けいぞく投資適用
お申込単位	<分配金再投資コース> (新規申込時)10万円以上1円単位 (追加申込時)1万円以上1円単位 (スイッチングの場合)1万円以上1円単位 (全額スイッチングを行なう場合)1円以上1円単位
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
信託期間	平成30年4月20日まで(平成20年4月28日設定)
決算日	(毎月分配型)毎月20日(休業日の場合は翌営業日) (資産成長型)毎年4月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	(毎月分配型)毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。また、毎年4月および10月の決算時には基準価額の水準などを勘案し、上記安定分配相当額のほか、委託会社が決定する額を付加して分配を行なう場合があります。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。 (資産成長型)委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、日興コーディアル証券の定める所定の日よりお支払いいたします。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>	
お申込手数料	: お申込手数料率は、お申込金額に応じて、以下のようになります。 1億円未満: 3.15%(税抜3.0%) 1億円以上5億円未満: 1.575%(税抜1.5%) 5億円以上10億円未満: 0.7875%(税抜0.75%) 10億円以上: 0.525%(税抜0.5%)
換金手数料	: ありません。
信託財産留保額	: ありません。
スイッチング手数料	: ありません。
<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>	
信託報酬	: 信託報酬率(年率)<純資産総額に対し> 当ファンド 0.8925%(税抜0.85%) 投資対象とする投資信託証券 0.24%程度* 実質的負担 1.1325%(税抜1.09%)程度 *この他に、投資対象とする「ハイグレードカレンシーファンド クラスA」においては固定報酬がかかります。 *詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 ※受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。
その他費用	: 組入価値証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。	

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会
投資顧問会社	ピムコジャパンリミテッド
受託会社	日興シティ信託銀行株式会社
販売会社	日興コーディアル証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第129号 加入協会: 日本証券業協会、(社)日本証券投資顧問業協会、(社)金融先物取引業協会

■お申込みに際しての留意事項-①

●リスク情報

○当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に債券など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

○投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動 リスク	一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。
流動性 リスク	・市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。 ・一般に新興国の債券は、先進国の債券と比較して、市場規模や取引量が少ないため、相対的に流動性リスクが高いと考えられます。
信用 リスク	・一般に公社債および短期金融資産にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格は下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。 ・一般に新興国の債券は、先進国の債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高いと考えられます。
為替変動 リスク	外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
カントリー・ リスク	・投資対象国である新興国における非常事態など(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。 ・情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。 ・ファンドの投資対象債券が上場または取引されている諸国の税制が先進国と異なる面がある場合があります。また、それらの諸国における税制が一方的に変更されたり、新たな税制が適用されたりすることもあります。以上のような要因は、ファンドの信託財産の価値に影響を与える可能性があります。
デリバティブ リスク	金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

(5/6)

■お申込みに際しての留意事項-②

●その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「日興高金利通貨ファンド(毎月分配型)／(資産成長型)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、日興コーディアル証券より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。